



刊夕日二月六
一ヶ月 日曜 祭日
郵税十五錢 一部二錢
廣告料 一行四〇錢
場所指定廿錢増
發行兼編輯印刷人
牛谷政 啓
發行所
福島縣平町大町五
新いわき新聞社

愛谷堰と平水道

勝利の軍配が何れに上るやら

板挟みに陥つた鐵道側

平町が上水道擴張工事の完了毎に一立方（五石五斗四成）をまつて平驛に鐵道機關（三）に採算して三千石車用水を供給せんとする計（五百四十立方メートル）の計は既に一般市民の知る所使用料一日二十圓二十三圓であるが従来同用水を送つに當り六百六圓九十錢一ヶの財源を失ふ爲め之れが對策に腐心の結果過渡裝置で淨化してとの目論見に年々八十錢高料の取組みは到底板挟みの姿となり其の成りなつた而して愛谷堰給水による現在の鐵道支出は一ヶ年の水代一千五百圓高架水槽（大工町踏切脇）揚水電氣動力代毎月二百五十圓、専任運轉手二名の月給約百圓、一日の所用水量は少ないで四十八萬リットル（二面はさつぱり申込みがなく千七百石）多い時は六十八萬リットル（三千八百石）平均六十二、三萬リットル（三千三、四百石）に上つて求人は男五三、女一二計五ある之れを平水道の供給に三名で差引三五名だけ求職かへれば料規程に基づく百者が溢れる結果となつた。立方まで六圓以上二百立方八十八名の求職者の内紹介まで十圓同以上一立方を増所の幹旋で就職した者は男で十日午前十時から合戸

依然たる就職地獄

働きたくも仕事がない

去月中の平紹介所成績

吹き捲く不況風に失業者は三八、女三計四名である。一方で平町職業紹介所は去月中に比し求職者が増加したのに對し求職の月給約百圓、一日の所用水量は少ないで四十八萬リットル（二面はさつぱり申込みがなく千七百石）多い時は六十八萬リットル（三千八百石）平均六十二、三萬リットル（三千三、四百石）に上つて求人は男五三、女一二計五ある之れを平水道の供給に三名で差引三五名だけ求職かへれば料規程に基づく百者が溢れる結果となつた。立方まで六圓以上二百立方八十八名の求職者の内紹介まで十圓同以上一立方を増所の幹旋で就職した者は男で十日午前十時から合戸

凱旋兵歓迎會

上小川村在郷軍人分會青年團主催の凱旋兵歓迎會は四日午後一時から小學校で開かへれば料規程に基づく百者が溢れる結果となつた。立方まで六圓以上二百立方八十八名の求職者の内紹介まで十圓同以上一立方を増所の幹旋で就職した者は男で十日午前十時から合戸

炭礦不況時代

一ヶ月に僅か十五日しか働けぬ

とても生活が立たぬと

不況による出炭の制限と採掘を擧げてゐるが他の掘作業の機械化から最近常小炭確では一ヶ月に十日位警各炭礦では毎月の公休をしか操業せぬものがザラに増加して出炭の軽減を計つてあり到底生計が立たぬためであるが好問村古河炭礦で坑夫稼業に見限りを付けては七月八日間、同じく隔山を下るものが續出し未會田川炭礦では十五日間の公有の炭礦不況時代を現出し休を發表したので坑夫連はてゐる。

反對にはお構ひなく

平窪青年夜店開

平町の青物屋さんたち

平窪青年の野菜市平町進出案を直接生産者から需要者には既報の如く平町の青物の臺所へのモットーを掲げ商連が躍起となつて反對して来る五日から九月末まで若し町當局が平窪青年の夜毎七時から平驛前農會食店開設を許可するならば平町庫の空地を借り受け例年通青物商組合員は結束して營り廉價市を開くこととなつ業税を納めぬと云ふ強硬な態度で平町の野菜屋さん達態度を示してゐるが當の平窪青年は善後策を協議中窪青年例ではそんなことには一向お構ひなく新鮮な野菜は一向お構ひなく新鮮な野菜

女房は可愛い

クビには成りたくなし

駈落ち女房に恨は残る

好問村上好問字小館古河炭と駈落ちしたので八方搜礎坑夫長尾居住齋藤義道の寮中の所最近ヒデは高橋と妻ヒデ（三）は本年一月三別れて東京の知人の許し身人の子供と夫を置き去りにを寄せてゐるが前非を悔いして高橋文作と云ふ若い燕て夫や子の待つてゐる家へ

夏井お祭騒動

神輿の揉合から

夏井村大字菅波大國魂神社

夏井村大字菅波大國魂神社と同村大字藤沼新山神社の祭典は毎年五月十五日に執行されるが兩社の氏子は傳統的に仲悪く今年も神輿の揉み合ひから喧嘩となり双方神輿を破損し怪我人を出し紛糾中であつたが最近事態悪化したので双方の氏子總代は善後策協議中。

夏井お祭騒動

神輿の揉合から

夏井村大字菅波大國魂神社

夏井村大字菅波大國魂神社と同村大字藤沼新山神社の祭典は毎年五月十五日に執行されるが兩社の氏子は傳統的に仲悪く今年も神輿の揉み合ひから喧嘩となり双方神輿を破損し怪我人を出し紛糾中であつたが最近事態悪化したので双方の氏子總代は善後策協議中。

キウリに奇病

飯野村大字北白土方面の胡瓜

瓜に最近ベト病と稱する奇病

飯野村大字北白土方面の胡瓜に最近ベト病と稱する奇病が發生し猛烈な勢ひで蔓延し成育した胡瓜は何れも腐つて地に落ちて了ふので農家では大恐慌を來し豫防に努めてゐる。

女一人の家へ

忍び込む

不埒ボテフリ檢舉

平町月見町二五魚行商渡邊留五郎（四一）は一日夜九時頃泥酔して仲間町機關庫員阿部實治留守宅の錠を外して侵入したが實治の妻サヨに大聲を擧げられて逃走せんとする所を平署員に檢舉の日用品物價左の如しされ家宅侵入として取調べ中。

電車から

飛降り損れて

時計商慘死

内郷村大字綴字一の坪時計商竹内庄一郎（五三）は二日午前六時五十五分頃同村大字内町字水の出地内を進行中の磐城炭礦専用軌道電車

芳照院

葬送の際には遠路の處

御多忙中にも不拘態々御會葬被下

御厚志の段難有奉深謝候乍略儀以紙上御禮申上候
七月二日
男 伊藤淺之助

夏井村に

野犬ばつこ

鶏六十羽嚙殺さる

夏井村に最近野犬が頻りにバツンし去る廿五日矢部徳次郎方では春雞六十羽が嚙み殺されその他の農家でも何れも被害のないものはない有様なので近く村の青年總出で野犬狩りを行ふこととなつた

日用品値段

毎週土曜日掲載

△白米一等一キロー七錢
二等一六錢五、三等一六錢、△白米七錢五、平麥一一錢△味噌並一貫五〇錢、△醬油一升三五錢△清酒一圓△木炭檜丸一貫一七錢、檜割一四錢雜木一六錢△砂糖白一二錢赤一〇錢△牛肉上四四〇錢、並二五錢△豚肉上三〇錢、並一五錢、



或問答

〔廿八〕十寸 雙
つまり多讀多作多攻と云ふ作文の法則と同一であります。
そこで折にふれ物に感じて即座に句の出来る率は川柳の初歩に多くや、堂に入つて來ると中々さうひよいくと出来るものではない、ましてん而して胸に感じた感想を突きに句にしたのは餘り好いものはないのであります(名人は別ですが)と云ふのはあまり直後ですと感が廣く大き過ぎて句其ものが位負けをするからであります。其時々につけると煙草を買つた郵便を出したと云ふ事迄つたくなつて詳しいには詳しいが要領を得た趣味ある日誌とはならない却て翌日になつて想ひ起しなからつけるとよいつかまいどころを得て趣味ある日記となるのであります。歌の火事に逢つて句が出来た人が死んだのに對して句が出来たと云ふのも一二の例外はありませうが、いづれ其事が終つてから靜かに腹をこめて想つて出来たもので決して期産に出るものではない、ましてんは即興で出来たものではないかとの御批難があるかも知れませんが、己むを得ないのであります。

得ないのであります。

最新流行

眼鏡類 値
ユビワ 安
各國時計 特
高橋時計店
平町

恐怖時代の

動脈硬化症
豫防及治療 新藥
アイヨール錠
定試用二圓
價大 六圓
發賣以來
白熱的に
歡迎せらる
特約店
山野邊藥局
平五丁目町

お醬油は
ヤマフル
鹽屋
山崎合名會社
電話 本島部 二七〇番
電話 本島部 二七〇番
電話 本島部 二七〇番

明治生命
代理店
山崎與三郎

磐城 共濟病院

平町・電話六四一番

模範
裁縫
高島屋洋服店
平町驛前 電話三八六番



一新柄着荷

初夏サロンの新装
アイスクリーム (十五錢)
タンク入りソーダ水 (十五錢)
どうぞ御用命を……
田町サロンの
電話三五二番
(男給見習數名募集)

高島屋洋服店
平町驛前 電話三八六番

入院需應 藤沼醫院

電話五〇七番

病淋・毒梅・科兒小・科外内
院醫原市
(番四一一話電)

消食 頭痛 胃腸 消化不良
の患 嘔吐 腹痛 嘔吐 嘔吐
懐中常備藥



地方代理店 平町五丁目
特約店を募集す

山野邊藥局

淋病最新藥
美神 一週分四〇〇
淋藥 二週分八〇〇
代理店
平町 山野邊藥局

價之低 質之高
良品廉價
高島屋
電話 本島部 二七〇番
電話 本島部 二七〇番
電話 本島部 二七〇番

諸毒下シの大妙藥
安流丸
平町五丁目
特約 山野邊藥局

債券、公債、兩替、金融
多田井質店
平町大工町
電話五九一番

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
高久病院
平町田町、電話五二三番
院長 醫學士 高久忠

式の
冷蔵庫
製造元 丸ほん